

九州地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度 第2回）
議 事 概 要 （ 速 報 ）

○日 時 平成17年10月24日（月）13：30～16：00

○場 所 福岡市博多区（財）福岡県中小企業振興センター 多目的ホール（2階）

○出席者

- ・ 委 員 楠田委員長、小野委員、実積委員、野見山委員
（欠席：明石副委員長、善副委員長、浅野委員、井上委員）

- ・ 整備局 宮田 局長、岩瀧 副局長、荒井 副局長、中島 総務部長、芦田 企画部長、
森北 河川部長、吉崎 道路部長、大木 営繕部長、伊藤 用地部長 他

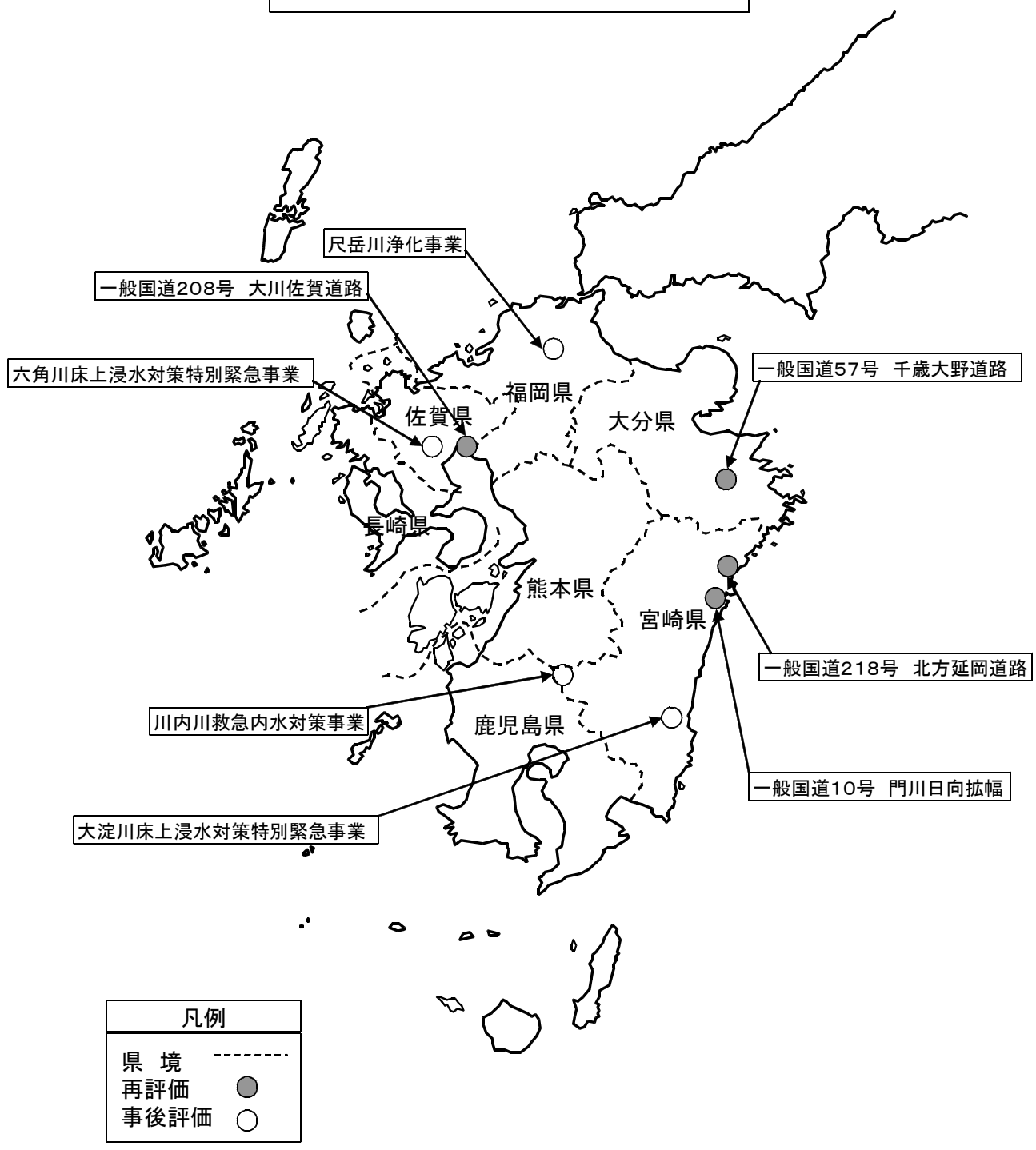
○資 料

- ・ 資 料－1：議事次第
- ・ 資 料－2：九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・ 資 料－3：九州地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度第2回）出席者名簿及び座席表
- ・ 資 料－4：平成17年度第2回委員会 事業再評価（道路4事業）
- ・ 資 料－5： " 事後評価（河川4事業）

○議 事

1. 開会
2. 出席者の紹介
3. 事務局説明
4. 対象事業の審議
 - 1) 再評価対象事業の説明、審議 [道路事業 4事業]
 - ・ 一般国道218号 北方延岡道路
 - ・ 一般国道208号 大川佐賀道路
 - ・ 一般国道 57号 千歳大野道路
 - ・ 一般国道 10号 門川日向拡幅
 - 2) 事後評価対象事業の説明、審議 [河川事業 4事業]
 - ・ 六角川床上浸水対策特別緊急事業
 - ・ 大淀川床上浸水対策特別緊急事業
 - ・ 川内川救急内水対策事業
 - ・ 尺岳川浄化事業
5. 閉会

位置図(再評価・事後評価)



九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿

- あかし ひろよし
○ 明石 博義 (社)九州・山口経済連合会 副会長
- あさの なおひと
浅野 直人 福岡大学法学部教授
- いのうえ のぶあき
井上 信昭 福岡大学工学部教授
- おの ゆういち
小野 勇一 九州大学名誉教授(いのちのたび博物館館長)
- くすだ てつや
◎ 楠田 哲也 九州大学大学院工学研究院教授
- じつづみ としや
実積 寿也 九州大学大学院経済学研究院助教授
- ぜん こうき
○ 善 功企 九州大学大学院工学研究院教授
- のみやま みちこ
野見山 ミチ子 NPO直方川づくりの会理事長

※ ◎印：委員長、○印：副委員長

(五十音順、敬称略)

○重点審議事業の選定説明

・道路事業における重点審議事業の選定理由について

◆重点審議事業：北方延岡道路

▲比較的全体事業費が大きく、残事業費も多い事業であるため。

▲今年度内に供用を予定している区間がある一方、未着工区間もある。その理由と今後の予定を確認する必要があるため。

・河川事業における重点審議事業の選定理由について

◆重点審議事業：六角川床上浸水対策特別緊急事業

▲事業規模が大きく、4排水機場を実施しており、潜在的な内水氾濫の常襲地区の内水対策として、緊急的かつ重点的に実施されたものであるため。

○審議結果

1. 事務局より再評価対象事業（道路4事業）について説明し、審議を行った。

(1) 【一般国道218号 北方延岡道路】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

■委員からの意見

◆東九州自動車道、九州横断自動車道との関連性

▲東九州自動車道は県境付近では、直轄高速、南側では、有料方式で事業中

▲延岡JCTにて東九州自動車道と接続し、ネットワークを形成

◆東九州道と延岡線とが繋がった場合の便益計算

▲全線のネットワークが繋がった場合におけるの北方延岡道路の整備のあり

・なしで便益を算出

(2) 【一般国道208号 大川佐賀道路】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

(3) 【一般国道57号 千歳大野道路】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

(4) 【一般国道10号 門川日向拡幅】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

■本日審議の道路事業全体に対する意見

◆混雑緩和とあるが、混雑度は、1を下回らないのかといけないのか。また、道路整備の中での適正な混雑度の範囲があるのではないか？

▲1車線から2車線になるといった整備となるため、計算上整備後の混雑度はこのような数値になる場合がある。

◆経済効果が見えない。投資効果、地域交流は記載されているが、経済効果が見えるような記載はないか

▲大川佐賀道路資料に佐賀有明空港の夜間貨物量が開港時の2倍に増加している等の記載がある。

◆混雑度というのはどのように計算するのか

▲交差点間で区間を設定し計算することが多い。混雑度が高い区間が部分的であれば交差点改良を実施する場合もあるが、区間全体で混雑度が高いと判断される場合、道路拡幅やバイパス整備を行う

<大川佐賀道路について>

◆大川佐賀道路は、準備書の段階であるが、現状での問題点はないか？

▲準備書作成のための現地調査を実施しており、現段階では大きな問題はないが、軟弱地盤対策での水質等に注意する必要がある。

◆調査段階で、小動物の生息域の分断、貴重種への影響は出ていないのか

▲現段階では確認できていない。現在調査中であり、平成17年度末までに準備書を作成し、横断構造物等の設置により分断をさける手段を考える。

2. 事務局より事後評価対象事業（河川4事業）について説明し、審議を行った。

(5) 【六角川床上浸水対策特別緊急事業】

■審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

■委員からの意見

◆ポンプの耐用年数と、ポンプを交換する場合の費用対効果計算への計上について。

▲ポンプの耐用年数は30年で考えている。

▲費用対効果の計算を行う上での費用に、ポンプの交換費用も含んでいる。

(6) 【大淀川床上浸水対策特別緊急事業】

■審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

■委員からの意見

◆ポンプを設置したことによる効果をもっとPRしたらどうか？

▲今後さらにPRに努めたい。但し、安全度は高まるが、計画規模を超えることも考えられ、ポンプを設置したからといって万全ではないので、住民の方々には、避難などのソフト面も併せて認識していただく必要がある。

(7) 【川内川救急内水対策事業】

- 審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。
- 委員からの意見
（◆同上〔(6)と同じ意内容〕の議論）

(8) 【尺岳川浄化事業】

- 審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。
- 委員からの意見
◆事業内容を住民があまり知らないのはもったいないので、もっとPRすべき。

■本日の審議内容全体に対する委員会意見として

河川事業のみならず、国土交通省の事業について、事業の効果のPRなど広報に力を入れていただきたい。

九州地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度 第2回）
議 事 概 要

○日 時 平成17年10月24日（月）13：30～16：00

○場 所 福岡市博多区（財）福岡県中小企業振興センター 多目的ホール（2階）

○出席者

- ・ 委 員 楠田委員長、小野委員、実積委員、野見山委員
（欠席：明石副委員長、善副委員長、浅野委員、井上委員）

- ・ 整備局 宮田 局長、岩瀧 副局長、荒井 副局長、中島 総務部長、芦田 企画部長、
森北 河川部長、吉崎 道路部長、大木 営繕部長、伊藤 用地部長 他

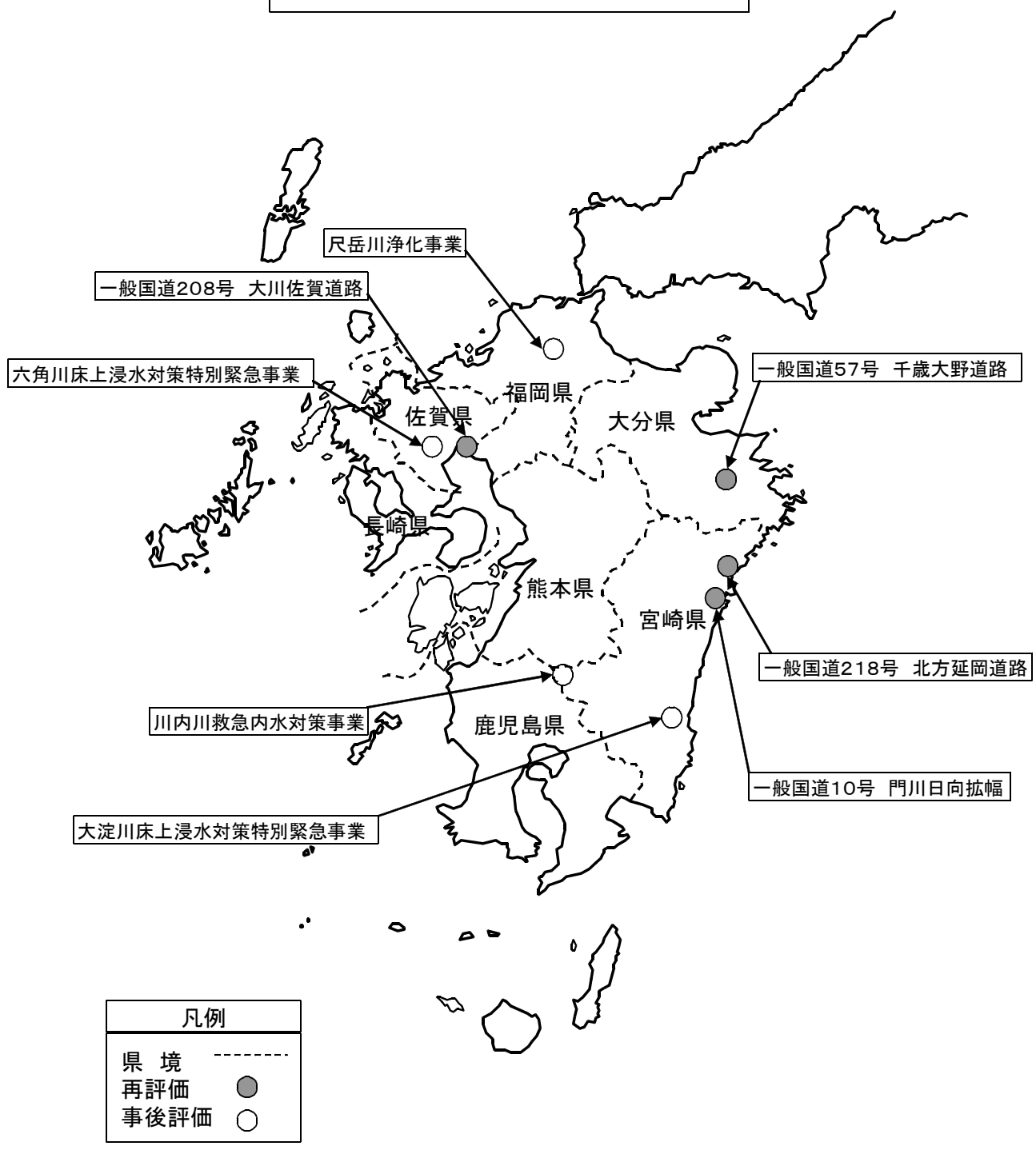
○資 料

- ・ 資 料－1：議事次第
- ・ 資 料－2：九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・ 資 料－3：九州地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度第2回）出席者名簿及び座席表
- ・ 資 料－4：平成17年度第2回委員会 事業再評価（道路4事業）
- ・ 資 料－5： " 事後評価（河川4事業）

○議 事

1. 開会
2. 出席者の紹介
3. 事務局説明
4. 対象事業の審議
 - 1) 再評価対象事業の説明、審議 [道路事業 4事業]
 - ・ 一般国道218号 北方延岡道路
 - ・ 一般国道208号 大川佐賀道路
 - ・ 一般国道 57号 千歳大野道路
 - ・ 一般国道 10号 門川日向拡幅
 - 2) 事後評価対象事業の説明、審議 [河川事業 4事業]
 - ・ 六角川床上浸水対策特別緊急事業
 - ・ 大淀川床上浸水対策特別緊急事業
 - ・ 川内川救急内水対策事業
 - ・ 尺岳川浄化事業
5. 閉会

位置図(再評価・事後評価)



九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿

- あかし ひろよし
○ 明石 博義 (社)九州・山口経済連合会 副会長
- あさの なおひと
浅野 直人 福岡大学法学部教授
- いのうえ のぶあき
井上 信昭 福岡大学工学部教授
- おの ゆういち
小野 勇一 九州大学名誉教授(いのちのたび博物館館長)
- くすだ てつや
◎ 楠田 哲也 九州大学大学院工学研究院教授
- じつづみ としや
実積 寿也 九州大学大学院経済学研究院助教授
- ぜん こうき
○ 善 功企 九州大学大学院工学研究院教授
- のみやま みちこ
野見山 ミチ子 NPO直方川づくりの会理事長

※ ◎印：委員長、○印：副委員長

(五十音順、敬称略)

○重点審議事業の選定説明

・道路事業における重点審議事業の選定理由について

◆重点審議事業：北方延岡道路

▲比較的全体事業費が大きく、残事業費も多い事業であるため。

▲今年度内に供用を予定している区間がある一方、未着工区間もある。その理由と今後の予定を確認する必要があるため。

・河川事業における重点審議事業の選定理由について

◆重点審議事業：六角川床上浸水対策特別緊急事業

▲事業規模が大きく、4排水機場を実施しており、潜在的な内水氾濫の常襲地区の内水対策として、緊急かつ重点的に実施されたものであるため。

○審議結果

1. 事務局より再評価対象事業（道路4事業）について説明し、審議を行った。

(1) 【一般国道218号 北方延岡道路】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

■委員からの主な意見

◆本事業と東九州自動車道、九州横断自動車道延岡線との関連性について。

▲事務局：・東九州自動車道については、大分県との県境付近では直轄高速、南側では有料方式で事業中である。

・九州横断自動車道延岡線については、延岡JCTにて東九州自動車道と接続し、ネットワークを形成する。

◆東九州自動車道と九州横断自動車道延岡線が接続した場合の便益計算について。

▲事務局：全線のネットワークが接続した場合における北方延岡道路の整備のあり、なしで便益を算出している。

(2) 【一般国道208号 大川佐賀道路】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

■委員からの主な意見

◆準備書作成段階での問題点について。

▲事務局：現在、準備書作成のための現地調査を実施しており、現段階では大きな問題は出ていないが、軟弱地盤対策での水質等に注意する必要がある。

◆調査段階での小動物の生息域の分断、貴重種への影響について。

▲事務局：現在、調査中であるが、現段階では貴重種は確認できていない。今後は、平成17年度末までに準備書を作成する予定であり、また、横断構造物の設置等による小動物の生息域の分断を避けるための検討も行う。

(3) 【一般国道 57号 千歳大野道路】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

(4) 【一般国道 10号 門川日向拡幅】・・・事業継続

■審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

■本日審議の道路事業全体に対する意見

◆道路整備後の混雑度が1以下となる場合の妥当性について。

▲事務局：1車線から2車線になるといった整備となるため、計算上、整備後の混雑度が1以下となる場合がある。

◆混雑度の算出手法について。

▲事務局：混雑度は、交差点間で区間を設定し算出することが多い。混雑度が高い区間が部分的であれば、交差点改良を実施する場合もあるが、区間全体で混雑度が高いと判断される場合、道路拡幅やバイパス整備を行う。

◆経済効果に関する記載の有無について。

▲事務局：例えば、大川佐賀道路の資料では、佐賀有明空港の夜間貨物量が開港時の2倍に増加している等の記載がある。

2. 事務局より事後評価対象事業（河川4事業）について説明し、審議を行った。

(5) 【六角川床上浸水対策特別緊急事業】

■審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

■委員からの主な意見

◆ポンプの耐用年数とポンプを交換する場合の費用対効果計算への計上について。

▲事務局：ポンプの耐用年数は30年で考えている。また、費用対効果の計算を行う上での費用に、ポンプの交換費用も含んでいる。

(6) 【大淀川床上浸水対策特別緊急事業】

■審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

■委員からの主な意見

◆ポンプを設置したことによる効果のPRについて

▲事務局：今後さらにPRに努めたい。ただし、治水安全度は高まるが、計画降雨規模を超えることも考えられ、ポンプを設置したからといって万全ではないので、住民の方々には、避難などのソフト面も併せて認識していただく必要がある。

(7) 【川内川救急内水対策事業】

■審議の結果、対応方針（案）どおり、了承された。

■委員からの主な意見

(◆同上 [(6)と同じ意内容] の議論)

(8) 【尺岳川浄化事業】

■審議の結果、対応方針(案)どおり、了承された。

■委員からの主な意見

◆事業内容を住民があまり知らないのはもったいないので、もっとPRすべきである。

■本日の審議内容全体に対する委員会意見として

◆河川事業のみならず、国土交通省の全ての事業について、事業の効果のPRなど、広報に力を入れていただきたい。